

「表と現」展覧会への参画



障害者の作品展示をこれまでにない豊かな開かれた場で開催

ターナーギャラリーで開催された「表と現」のオープニングイベントに出演しました。区議会議員としてではなく、自作した赤いなまはげとしてでした。マカレナのリズムに合わせて踊りながら、紙吹雪が舞う中、練り歩きました。楽しんで頂けたようです。

この「表と現」は、私が名称を提案し、採用されました。「アール・ブリュット」が広がり、福祉現場で作られるものが展示される機会が増えました。もう一度、表現に向き合い、福祉現場での創作と一緒に取り組むべきという想いを込めました。

実行委員会が開催され、その都度ワークショップも開いて、考えること話すことを繰り返しました。展示された作品は、支援員の温かい眼差しを感じるものが多く感動しました。キャプションに書かれている作品や作家に関するストーリーテリングが秀逸でした。今後とも美術館学芸員のキャリアを生かして、障がい者の芸術活動を支援します。